

国際ロータリー第2620地区山梨第1分区
山梨ロータリークラブ

広報歯車



2011～2012 国際ロータリーのテーマ
Reach within to embrace humanity 心の中を見つめよう 博愛を広げるために

発行：山梨ロータリークラブ広報委員会（三枝照二委員長）
事務所：山梨市小原西110 深沢一孝（幹事）方
電話：0553-22-4126（FAXも同じ）

“古屋英世年度”にバトンタッチへ RI年度は7月～6月

幹事 深沢 一孝



会長がロータリークラブの顔なら、幹事はその扇の要です。内外の調整役ですから、いわば世話役のようなものかもしれません。そんな役目をお引き受けして、もう10か月半が過ぎました。

東日本大震災復興支援の義援活動はもとより、会員が職業奉仕の精神を発揮し、それぞれの立場で、その活動に参加しました。これからも継続的な支援活動が肝要と考えます。

「貴重な山野草を守ろう」を合い言葉に乙女高原の下草刈り（11月）や遊歩道作り（5月）にも積極的に参加し、自然保護、環境保全活動に汗を流しました＝記事と写真は2面に。山梨市内の小中学校に図書を寄贈、今年度も読書感想文コンクールを実施。12月のクリスマス家族会の席上、優秀作品の表彰も行いました。受賞者の喜びの表情が印象的でした。

姉妹クラブ・氷見中央（富山）との締結更新は4月、富山で行いました。お付き合いは20年になります。両クラブは、お酒を酌み交わしながら和やかに交歓しました＝写真下。記事は2面に。



ロータリー年度は7月～6月。私たち“山田清岡年度”は次の“古屋英世年度”にバトンを譲ります。国際ロータリー（RI）は、こうして1年単位で役割分担を交代しながら「自らの職業を通じて社会へ奉仕」を合い言葉に活動しています。そんな活動に一人でも多くの方々が参加していただけたらいいな、と考えています。上記の事務所にお気軽にお問い合わせください。

乙女高原で遊歩道作り 貴重な山野草保護に一役



5月13日、山梨市牧丘町の乙女高原で草原を守る遊歩道作りが行われました。山梨ロータリークラブの環境保護活動の一環行事。乙女高原の草原を守る運動の先頭に立つ同高原ファンクラブ（植原彰代表）に協賛、秋の下草刈りに次いで、この時季の遊歩道作りにも毎年参加しています。

乙女高原のこの一帯は、かつてスキー場があった所。全国でも有数の山野草の宝庫とされています。この日は藤巻豊彦奉仕プロジェクト委員長ら13人が県内外から集まった約100人のボランティアとともに草原に杭を打ち、ロープを張って遊歩道

を作りました＝写真。初夏にはツツジ、夏から秋には植生上も貴重なさまざまな山野草が咲き乱れます。

作業終了後は、タラの芽やコシアブラ、ワラビなどの山菜取りをするのもクラブの恒例行事です。

姉妹クラブの締結更新 氷見中央 RC と相互交流／20年のお付き合い

氷見中央（富山）との姉妹クラブ締結更新は4月5日、氷見中央ロータリークラブの例会に合わせて氷見市の民宿「美岬」で行われました。山梨側からは山田清岡会長、内田正朗姉妹クラブ小委員長ら14人が、氷見側から桶茂行会長ら11人が参加、新たな締結書に調印しました＝写真



両クラブは平成4年5月、姉妹関係を結び、今年で20年。3年に一度、相互訪問しながら更新して来ました。8回目となる調印式では山田、桶両会長が相互に末永い交流を誓い、エールを交換しました。恒例の山の幸、海の幸の交換も。和やかな時が流れました。



Q ニコニコBOXって、なあ～に？

A

ロータリークラブの例会の三種の神器と言えば、ロータリー旗と開閉会時に鳴らす（点鐘）鐘、それに、このニコニコBOXと言えるでしょう。国際ロータリー（RI）日本事務局（東京・赤羽）によりますと、ニコニコBOXは元RI理事でロータリー財団の管理委員も務めた田中作治氏の発案で昭和11年7月、大阪で設けら

れたのが始まりです。

例会への欠席や遅刻、早退などのペナルティ、また嬉しいことがあったりした場合の表現として利用されたといわれます。その浄財は奉仕活動に充てるのが好ましいのですが、特に用途の定義はありません。山梨ロータリークラブでも積極的に利用され、浄財はさまざまところで活用されています。

掲示板

◇歯車句会は毎月第二水曜日の夜

クラブ内の趣味のグループ歯車句会（雨宮毅代表）は先頃、再発足。定例会句会を原則、毎月第二例会日（水曜日）の夜6時半から山梨市駅前の割烹旅館「秋月」で開くこと

にしました。スタメンは9人。短冊にしたためた3編ずつの俳句を持ち寄り、批評をし合います。みんな初心者ばかり。和やかな句会になりそうです。会費は3,000円（飲・食事代）。